

“みんなごと”のまちづくり推進事業 まちづくり・お宝バンク 市民協働推進コーディネーター 進捗報告



Vol.07
平成30年
2月

コーディネーター：日高由紀

～突き止めたい!寒天発祥の地～ 伏見寒天プロジェクト スタートしました★

お宝No.10 伏見寒天プロジェクト (植野 彰 氏)

江戸時代に伏見区の旅館で偶然生まれたといわれている「寒天」の発祥の地を突き止めて、寒天発祥の地の石碑を建立し、伏見から寒天の歴史と魅力の発信をしようと、乾物商を営まれている植野さんが仲間を募って立ちあげた「伏見寒天プロジェクト」。寒天の歴史の奥深さ、おもしろさ、美味しさなど、寒天の魅力を多くの市民に知ってもらおうと、講演会から寒天スイーツ作りイベントまで、様々なまちづくり活動を企画発信されています。新聞等でも度々紹介されていますので、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「ただ記念の石碑を設置するのではなく、まずは伏見発祥の寒天の魅力をみんなに知ってもらい、仲間を増やしていきたいと思っています。」と代表の植野さん。

詳しい情報はfacebook 伏見寒天プロジェクト

寒天とは

江戸時代初期の1685年(貞享2年)、山城国紀伊郡伏見御駕籠町(現・京都府京都市伏見区御駕籠町)において旅館「美濃屋」の主人・美濃太郎左衛門が、戸外に捨てたトコロテンが凍結し、日中は融け、日を経た乾物を発見した。これでトコロテンをつくったところ、前よりも美しく海藻臭さが無いものができた。これを黄檗山萬福寺を開創した隠元禅師に試食してもらったところ、精進料理の食材として活用できると奨励された。同時に名前を尋ねられたが、まだ決めていなかったためその旨伝えと、隠元は「寒空」や「冬の空」を意味する漢語の寒天に寒晒心太(かんざらしとこてん)の意味を込めて、寒天と命名したという。(wikipedia「寒天」より)

～私たちが子供向けプログラムを提供します～ 京都市内の児童館との連携

京都市児童館学童連盟のご協力で、施設長会議にて、子供向けプログラムを提供できる、まちづくり・お宝バンク提案者の活動を紹介しました。早速、秋まつりやクリスマスイベントへの出演依頼をいただきました。どうもありがとうございました!



お宝No.227 SUKIDARAKE MAFIA 「SUKIDARAKE MAFIAの出張ライブ」

【SUKIDARAKE MAFIA 熊沢さんのお話】

平成29年11月11日梅津北児童館の「じどうかん秋まつり」に出演してきました。ゲストパフォーマーということで、お祭りのエンディングで演奏することに。体育館のステージの上に立つことなんて、何年振りだったでしょうか!いつものライブとは違う緊張感がありました。歌ったのは、リクエストのあった「いつも何度でも」「恋 / 星野源」など。集まって

くれた小学生、中学生が、私たちの演奏に合わせて“恋ダンス”を踊ってくれたんです!

次回は是非、子どもたちにもステージに上がってもらって、私たちの演奏とコラボできたら良いですねというお話になりました。

まちづくり・お宝バンクには、他にも子供向けプログラムをお持ちの団体さんが登録されています。詳しくは「まちづくり・お宝バンク」サイトから「提案一覧」をご覧ください。
https://tsukurukyoto.net/bank_index/

お宝No.239 京ことばの会 「京ことばを次世代に語り継ぐために広く活動の場を」

「京ことば」と言われたらどんな言葉を連想しますか?

「おおきに」「おいでやす」「おやかまっさんどした」等々…何となく聞いた事はあっても、普段の生活で使っている方はあまりいらっしゃらないかもしれません。

古来から引き継がれてきた美しい京ことばを、次の世代に継承していこうと活動されている「京ことばの会」のみなさんが、平成30年1月13日に下京区修徳児童館にて京ことばをつかった朗読劇と「京ことばかるた」体験をおこないました。

朗読劇「羅生門の鬼」では、京ことばの会代表で語り職人でもある中島さんによる迫力ある声色に子供達はとても集中して聞き入り、京ことばかるた体験では、みんな前のめりになって札を取り合いました。

その後みんなで京の通り名わらべうたを歌い、最後に中島さんから、普段の生活でもつかえる京ことばとして、「かんにんえ」という言葉を正しい発音で子供達に伝授していただきました。いたずらをした子供に「かんにんえ～」と言われたら、つい笑って許してしまいそうですね。

児童館以外にも1月は、西院で開催されている「おいでやす食堂」でも京ことばかるたコーナーを設け、子供向けの活動を広げるきっかけができました。

日程が合えば京都各地に来てくださるそうですので、「うちにも来て欲しいな～」という方は、まちづくり・お宝バンクNo.239 京ことばの会の「ご意見・応援フォーム」からお問い合わせください。



